

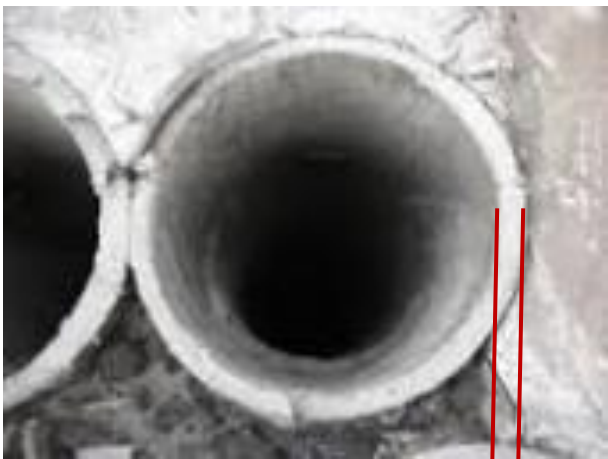

アスベスト含有煙突用断熱材の調査に関する留意事項について

要確認事項

煙突については、以下の点について必ず御確認ください。

石綿セメント円筒等は、調査対象建材ではないので、御留意ください。どのような材料が使用されているか、改めて御確認ください。(特に内径の小さい煙突は御注意ください。)

○石綿セメント円筒と煙突用断熱材の違い (写真例)

石綿セメント円筒等【調査対象建材ではない】	煙突用断熱材【調査対象建材】
 <p style="text-align: center;"><u>管の厚み</u></p> <p><u>管の厚みが比較的薄く断熱層がなく管そのものに石綿が練り込まれているもの</u></p> <p>〈主な使用部位と用途〉</p> <ul style="list-style-type: none">・換気用円筒材、煙突、雑排水管などに使用されている。 <p>メモ：石綿が使用されていても石綿セメント円筒のように管として成形されたものは、飛散性が低いため、いわゆるレベル3の建材であり本調査の対象外である。</p>	 <p style="text-align: center;"><u>断熱層の厚み</u></p> <p><u>断熱層があるため比較的厚みがある(一概には言えないが30mm程度か、それ以上の場合もある)</u></p> <p>〈主な使用部位と用途〉</p> <ul style="list-style-type: none">・煙突の断熱目的のために使用されている。(煙突用断熱材は、石綿セメント円筒等のように雑排水管には使用できない)